



東北農林専門職大学市町村PRイベント



4月21日、東北農林専門職大学で、最上8市町村の交流促進を図るため、学生に魅力をPRするイベントが行われました。

当日は、まちづくり課長の曾根田健ほか2名の職員が参加。図書館前に観光情報や町の文化、国宝土偶「縄文の女神」をPRするブースを設置したほか、講堂では町職員によりイベントや学生支援について発表が行われました。

最上地域政策研究所第8期研究員辞令交付式



4月23日、最上総合支庁で最上地域政策研究所第8期研究員辞令交付式が行われました。この取組みは、最上地域の課題について市町村職員と最上総合支庁の職員が調査研究することで、政策形成能力の向上を目指すものです。

第8期では「多様な担い手との共創で最上を元気に!!」をテーマに佐藤大輝（まちづくり課企画調整係）が政策研究に取組みます。



山形大学公衆衛生看護学実習（6月1日）



山形大学看護学科の学生2名が町で保健師実習を行い、地域住民と交流し学びを深めました。

やまがた移住・定住フェア2026（6月13日）



東京交通会館（東京都千代田区）で、移住・定住に興味を持つ方と交流し、町の魅力をPRしました。

新規採用職員研修（6月15日）



令和8年度新規採用職員が、最上広域市町村圏事務組合主催の研修に参加しました。

高校生インターンシップ（6月16日）



新庄神室産業高等学校と新庄東高等学校の生徒が職員の仕事を体験。町も役場の魅力をPRしました。